

										下妻市役所					
工事番号	07国補公下第1－1号・07市単公下第1－1号 合併					部長		課長		課長補佐		係長	審査	設計者	
令和7年度															
污水管布設工事（小島第1）								下妻市 小島 地内							
設計概要	下妻第11処理分区 污水管布設工事 L＝ 249.0 m							施行方法	請 負						
	【補助】 路線延長 L＝ 232.1 m							履行期間	日間						
	マンホール設置工 1号マンホール N＝ 3 箇所							履行期限	日間						
	付帯工 N＝ 1 式							起工年月日	令和 8 年 3 月 13 日						
	(推進) 路線延長 L＝ 40.0 m							延期・中止							
	推進延長 L＝ 37.3 m							完了年月日							
	マンホール設置工 1号マンホール N＝ 1 箇所							請 負 人	社 名						
	付帯工 N＝ 1 式								代表者						
	(開削) 路線延長 L＝ 192.1 m								所在地						
	管布設工 L＝ 189.4 m								電話						
マンホール設置工 1号マンホール N＝ 2 箇所															
取付柵設置工 N＝ 2 箇所															
付帯工 N＝ 1 式															
【単独】 路線延長 L＝ 16.9 m															
マンホール設置工 1号マンホール N＝ 1 箇所															
取付柵設置工 N＝ 2 箇所															
付帯工 N＝ 1 式															
週休二日制促進工事 対象 ・ 対象外															
【土木工事設計書(甲)】															
起 変 工 更 理 由															
費 目		起 工		第1回変更			第2回変更			増 △ 減					
起 工 額															
請負に附する額 又は請 負 額															
工 事 価 格															
測 量 試 験 費 又は工事雑費															
用地及び補償費															
消費税相当額															
請負決定額															

変更請負額算定基準

変更請負額＝変更請負に附する額×請負比率（ $\frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の請負に対する額}}$ ）

請負に附する額	×	請 負 比 率	＝	請 負 額

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
管路(補助)									
管きょ工(小口径推進)									
低耐荷力泥土圧推進工									
推進用硬質塩化ビニル管(低耐荷力泥土圧)					37.300	m			
塩ビ推進管 φ200SSPS L=1.0m 標準管・先頭管・最終管					40.000	本			20220701
推進工(低耐荷力泥土圧) No.4→既設2 呼び径(mm)(呼び径200mm),土質(N値)区分(N≤15),1推進区間の延長(実数入力)(31.65 m)					31.650	m			
推進工(低耐荷力泥土圧) No.4→既設3 呼び径(mm)(呼び径200mm),土質(N値)区分(N≤15),1推進区間の延長(実数入力)(5.65 m)					5.650	m			
スクレーコンベヤ類撤去工(低耐荷力泥土圧)					37.300	m			
添加材注入工(低耐荷力泥土圧) 呼び径(mm)(呼び径200mm),土質(N値)区分(N≤15),注入種別(添加材),添加材数量(実数入力)(0.107 kg)					37.300	m			
発生土処理					1.400	m3			
発生土処分工 4 t 車(山積0.28 m3)					1.400	m 3			第0001号代価表
立坑内管布設工									
硬質塩化ビニル管					0.900	m			
硬質塩化ビニル管設置工(市場単価) 規格・仕様(呼び径 200mm),施工規模(20m未満),時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間作業補正(無)					0.900	m			

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
仮設備工(小口径)									
坑口(小口径)					4.000	箇所			
坑口工(低耐荷力泥土圧推進) 呼び径(mm)(呼び径200mm)					4.000	箇所			
立坑基礎					0.400	箇所			
コンクリート 構造物種別(小型構造物), 打設工法(バックホ (クレーン機能付) 打設), コンクリート規格(18-8-25 (高炉)), 養生工の種類(養生無し), 費用 の内訳(全ての費用)					0.400	m3			施工P 第0002号代価表
鏡切り					2.000	箇所			
鏡切り					2.000	箇所			第0003号代価表
推進設備等設置撤去					1.000	箇所			
推進設備工(低耐荷力泥土圧) トラッククレーン賃料補正(標準 (1.0))					1.000	箇所			
推進設備据換工(低耐荷力泥土圧) トラッククレーン賃料補正(標準 (1.0))					1.000	箇所			
先導体据付撤去工(低耐荷力泥土 圧)					1.000	箇所			
立坑工									
管路土工									
管路埋戻					5.300	m3			
機械投入埋戻工(バックホ) バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)), タンバ締固め数量(m3) (実数) (100 m3 /100m3)					1.900	m3			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	コンクリート	構造物種別(無筋・鉄筋構造物), 打設工法(コンクリートポンプ車打設), コンクリート規格(18-8-25 (高炉)), 設計日打設量(10m3以上100m3未満), 養生工の種類(養生無し), 圧送管延長距離区分(延長無し), 費用の内訳(全ての費用)			3.400	m3			施工P 第0004号代価表
	発生土処理				9.700	m3			
	発生土処分工	4 t 車 (山積0.28 m3)			9.700	m 3			第0001号代価表
	鋼製ケーシング式土留工及び土工								
	鋼製ケーシング圧入掘削				4.510	m			
	圧入掘削積込み工 (φ1800 粘性土 N≤5)	呼び径(mm)(呼び径φ1800mm), 土質・適用範囲(粘性土 N≤5), 圧入方式(揺動方式), 圧入機関出力(実数入力)(42 kW), ラフテレンクレーン賃料補正(標準(1.0))			1.670	m			
	圧入掘削積込み工 (φ1800 砂質土 N≤30)	呼び径(mm)(呼び径φ1800mm), 土質・適用範囲(砂質土 N≤30), 圧入方式(揺動方式), 圧入機関出力(実数入力)(42 kW), ラフテレンクレーン賃料補正(標準(1.0))			2.840	m			
	ケーシング溶接工	呼び径(mm)(呼び径φ1800mm)			1.000	箇所			
	ケーシング引上げ工	呼び径(mm)(呼び径φ1800mm), 圧入方式(揺動式), 圧入機関出力(実数入力)(42 kW), ラフテレンクレーン賃料補正(標準(1.0))			0.900	m			
	ケーシング撤去工	呼び径(mm)(呼び径φ1800mm), ケーシング切断長(実数入力)(11.44 m)			1.000	箇所			
	スクラップ	ヘビーH1			0.904	t			
	底盤コンクリート				2.500	箇所			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	底盤コンクリート打設工					m3			
					2.500				
	圧入掘削設備					箇所			
					1.000				
	機械設置撤去工 呼び径 (mm) (呼び径 φ 1800mm), 圧入方式 (揺動方式), 圧入機機関出力 (実数入力) (42 kW), ラフテレンクレーン賃料補正 (標準 (1.0))					回			
					1.000				
	機械退避・再設置工 呼び径 (mm) (呼び径 φ 1800mm), 圧入方式 (揺動方式), 圧入機機関出力 (実数入力) (42 kW), ラフテレンクレーン賃料補正 (標準 (1.0))					回			
					1.000				
	鋼製ケーシング 存置					m			
					3.800				
	鋼製ケーシング存置 (No. 3 φ 1800)					箇所			第0005号代価表
					1.000				
	仮設ケーシング 損料					式			
					1.000				
	仮設ケーシング損料 φ 1800					箇所			20220701
					1.000				
	立坑排水					箇所			
					1.000				
	うわ水排水工 ラフテレンクレーン賃料補正 (標準 (1.0))					箇所			
					1.000				
	排水運搬処理					箇所			
					1.000				
	スライム処理工					箇所			
					1.000				
	円形覆工板					箇所			
					1.000				
	円形覆工板設置工 呼び径 (mm) (呼び径 φ 1800mm)					箇所			
					1.000				
	円形覆工板撤去工 呼び径 (mm) (呼び径 φ 1800mm)					箇所			
					1.000				
	円形覆工板賃料等 円形覆工板賃料 (月) (実数入力) (月), 円形覆工整備料 (枚) (実数入力) (1 枚)					式			
					1.000				

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
地盤改良工									
固結工									
薬液注入						本			
					6.000				
No.3上流 薬液注入(二重管ストレート工法) 工法名(複相方式),セツト区分(2セツト),礫質土削孔長(m)(実数入力)(0 m),砂質土削孔長(m)(実数入力)(2.382 m),粘性土削孔長(m)(実数入力)(1.71 m),土被り長さ(L2)(m)(実数入力)(1.376 m),注入対象土量礫質土(m3)(実数)(0 m3),注入対象土量砂質土(m3)(実数)(12.305 m3),注入対象土量粘性土(m3)(実数)(1.725 m3),礫質土注入率(λ)(%) (実数入力)(0 %),砂質土注入率(λ)(%) (実数入力)(35 %),粘性土注入率(λ)(%) (実数入力)(30 %),注入本数(n)(本)(実数入力)(6 本),特許料金計上区分(計上しない)						本			
					6.000				
No.3下流 薬液注入(二重管ストレート工法) 工法名(複相方式),セツト区分(2セツト),礫質土削孔長(m)(実数入力)(0 m),砂質土削孔長(m)(実数入力)(2.402 m),粘性土削孔長(m)(実数入力)(1.71 m),土被り長さ(L2)(m)(実数入力)(1.396 m),注入対象土量礫質土(m3)(実数)(0 m3),注入対象土量砂質土(m3)(実数)(12.409 m3),注入対象土量粘性土(m3)(実数)(1.622 m3),礫質土注入率(λ)(%) (実数入力)(0 %),砂質土注入率(λ)(%) (実数入力)(35 %),粘性土注入率(λ)(%) (実数入力)(30 %),注入本数(n)(本)(実数入力)(6 本),特許料金計上区分(計上しない)						本			
					6.000				

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
				既設2下流 薬液注入(二重管ストレーナ工法) 工法名(複相方式),セット区分(2セット),礫質土削孔長(m)(実数入力)(0 m),砂質土削孔長(m)(実数入力)(2.297 m),粘性土削孔長(m)(実数入力)(1.9 m),土被り長さ(L2)(m)(実数入力)(1.481 m),注入対象土量礫質土(m3)(実数)(0 m3),注入対象土量砂質土(m3)(実数)(11.882 m3),注入対象土量粘性土(m3)(実数)(2.167 m3),礫質土注入率(λ)(%) (実数入力)(0 %),砂質土注入率(λ)(%) (実数入力)(35 %),粘性土注入率(λ)(%) (実数入力)(30 %),注入本数(n)(本)(実数入力)(6 本),特許料金計上区分(計上しない)	6.000	本			
				既設3上流 薬液注入(二重管ストレーナ工法) 工法名(複相方式),セット区分(2セット),礫質土削孔長(m)(実数入力)(0 m),砂質土削孔長(m)(実数入力)(2.42 m),粘性土削孔長(m)(実数入力)(1.22 m),土被り長さ(L2)(m)(実数入力)(1 m),注入対象土量礫質土(m3)(実数)(0 m3),注入対象土量砂質土(m3)(実数)(12.519 m3),注入対象土量粘性土(m3)(実数)(1.138 m3),礫質土注入率(λ)(%) (実数入力)(0 %),砂質土注入率(λ)(%) (実数入力)(35 %),粘性土注入率(λ)(%) (実数入力)(30 %),注入本数(n)(本)(実数入力)(6 本),特許料金計上区分(計上しない)	6.000	本			
				注入設備据付・解体 注入方式(二重管ストレーナ工法),セット数(2セット)	1.000	現場			
				管きょ工(開削)					
				管路土工					
				管路掘削	270.000	m3			
				機械掘削工(バックホウ) バックホウ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3))	270.000	m3			
				管路埋戻	57.000	m3			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	機械投入埋戻工(バックホウ)	山積0.28m3	砂(埋戻し用)			m3			第0006号代価表
					57.000				
	機械投入埋戻工(バックホウ)	山積0.28m3	発生土			m3			第0007号代価表
					160.000				
	発生土処理					m3			
					160.000				
	発生土処分工	4 t 車	(山積0.28m3)			m 3			第0001号代価表
					95.000				
	管布設工								
	硬質塩化ビニル管					m			
					189.400				
	硬質塩化ビニル管設置工(市場単価)	規格・仕様(呼び径 150mm), 施工規模(20m以上), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)				m			
					189.400				
	継手類					箇所			
					5.000				
	マンホール可とう継手	φ 150				個			
					5.000				
	管路土留工								
	たて込み簡易土留					m			
					134.000				
	建て込み簡易土留	掘削深2.0m以下				m			第0008号代価表
					134.000				
	建て込み簡易土留賃料	2.0m以下 使用面積: 120.00m2				式			
					1.000				
	マンホール工								
	組立マンホール工								
	組立 1 号マンホール					箇所			
					3.000				
	デザインマンホール蓋 (T-14)	φ 600				個			
					3.000				

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
			転落防止梯子			個			
					1.000				
			無収縮モルタル25kg 施工高40mm			袋			
					2.000				
			流動性無収縮モルタル施工用型枠 φ 600用 1組/1現場			組			
					1.000				
			マンホール 調整リング50mm			個			
					2.000				
			マンホール 調整リング100mm			個			
					1.000				
			組立式 1 号マンホール 斜壁ﾌﾟﾛｯｸ 600*900*450			個			
					2.000				
			組立式 1 号マンホール 斜壁ﾌﾟﾛｯｸ600*900*600			個			
					1.000				
			組立式 1 号マンホール 直壁ﾌﾟﾛｯｸ900*900			個			
					1.000				
			組立式 1 号マンホール 躯体ﾌﾟﾛｯｸ900*900			個			
					1.000				
			組立式 1 号マンホール 躯体ﾌﾟﾛｯｸ900*1200			個			
					1.000				
			組立式 1 号マンホール 躯体ﾌﾟﾛｯｸ 900*1500			個			
					1.000				
			組立式 1 号マンホール 底板ﾌﾟﾛｯｸ			個			
					3.000				
			底部工（組立式 1 号 φ 150）			箇所			第0009号代価表
					3.000				
			底部工（インバートのみ）			箇所			第0010号代価表
					3.000				
			削孔費（0号・1号共通） 塩ビ管150mm			箇所			
					3.000				
			削孔費（0号・1号共通） 塩ビ管200mm			個			
					3.000				

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
組立マンホール設置工(市場単価)	1号	3m以下	規格・仕様(1号(900mm) 3m以下), 施工規模(4箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)		2.000	箇所			
組立マンホール設置工(市場単価)	1号	3m超～4m以下	規格・仕様(1号(900mm) 3m超～4m以下), 施工規模(4箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)		1.000	箇所			
付帯工									
舗装版破碎工									
舗装版切断					385.700	m			
舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版), アスファルト舗装版厚(15cm以下), 費用の内訳(全ての費用)					385.700	m			施工P 第0011号代価表
舗装版破碎					735.000	m2			
舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(15cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)					735.000	m2			施工P 第0012号代価表
殻処分					29.500	m3			
殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無し)(11.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)					29.500	m3			施工P 第0013号代価表
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下					69.325	t			
管路土工									
発生土処理					7.000	m3			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	床掘り	土質(土砂), 施工方法(標準), 土留方式の種類(無し), 障害の有無(無し)			7.000	m3			施工P 第0014号代価表
	発生土処分工	4 t 車 (山積0.28 m3)			7.000	m 3			第0001号代価表
	舗装仮復旧工								
	下層路盤				168.700	m2			
	下層路盤(一般市道)	RC-40 t=200mm 全仕上り厚(実数入力)(200 mm), 施工区分(1層施工), 材料(再生クラッシュラン RC-40), 費用の内訳(全ての費用)			168.700	m2			施工P 第0015号代価表
	上層路盤				168.700	m2			
	上層路盤(一般市道)	M-30 t=150mm 全仕上り厚(実数入力)(150 mm), 施工区分(1層施工), 材料(粒度調整砕石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)			168.700	m2			施工P 第0016号代価表
	舗装本復旧工								
	表層				736.000	m2			
	表層(一般市道)	再生密粒度As t=40mm W=1.4m以上3.0m以下 平均幅員(1.4m以上3.0m以下), 1層当平均仕上厚 70mm以下(40 mm), 材料(再生密粒度アスコン (1 3)), 瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)			88.000	m2			施工P 第0017号代価表
	表層(一般市道)	再生密粒度As t=40mm W=3.0m超 平均幅員(3.0m超), 1層当平均仕上厚 70mm以下(40 mm), 材料(再生密粒度アスコン (1 3)), 瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)			648.000	m2			施工P 第0018号代価表
	不陸整正	補足材料の有無(無し), 費用の内訳(全ての費用)			736.000	m2			施工P 第0019号代価表

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
共通仮設(補助)									
共通仮設費									
安全費									
交通誘導員					2.000	人日			
交通誘導警備員 B					82.000	人			
管路(単独)									
管きょ工(開削)									
管路土工									
管路掘削					18.000	m3			
機械掘削工(バックホ)					18.000	m3			
バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3))									
管路埋戻					14.000	m3			
機械投入埋戻工(バックホ)					5.000	m3			第0006号代価表
砂(埋戻し用)									
機械投入埋戻工(バックホ)					9.000	m3			第0007号代価表
発生土									
発生土処理					8.000	m3			
発生土処分工					8.000	m 3			第0001号代価表
4 t 車(山積0.28m3)									
管布設工									
硬質塩化ビニル管					16.000	m			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
				硬質塩化ビニル管設置工(市場単価) 規格・仕様(呼び径 150mm), 施工規模(20m 未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無) , 夜間作業補正(無)	16.000	m			
継手類					1.000	箇所			
マンホール可とう継手 φ150					1.000	個			
マンホール可とう継手 φ100					1.000	個			
マンホール工									
組立マンホール工									
組立 1 号マンホール					1.000	箇所			
デザインマンホール蓋 (T-14) φ600					1.000	個			
無収縮モルタル12.5kg 施工高20mm					1.000	袋			
マンホール 調整リング50mm					1.000	個			
組立式 1 号マンホール 斜壁ブロック600*900*600					1.000	個			
組立式 1 号マンホール 躯体ブロック 900*600					1.000	個			
組立式 1 号マンホール 底版ブロック					1.000	個			
削孔費 (0号・1号共通) 塩ビ管100mm (取付管人孔直取)					1.000	箇所			
底部工 (組立式 1 号 φ150)					1.000	箇所			第0009号代価表
組立マンホール設置工(市場単価) 1号 3m以下 規格・仕様(1号(900mm) 3m以下), 施工規模(4箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補 正(無), 夜間作業補正(無)					1.000	箇所			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
取付管およびます工									
管路土工									
管路掘削					3.000	m3			
機械掘削工(小型バックホ)				小型バックホ規格(排対(2次)山積0.13m3(平0.1m3))	3.000	m3			
管路埋戻					2.460	m3			
機械投入埋戻工(小型バックホ)			山積0.13m3	砂(埋戻し用)	0.460	m 3			第0020号代価表
機械投入埋戻工(小型バックホ)			山積0.13m3	発生土	2.000	m 3			第0021号代価表
発生土処理					1.000	m3			
発生土処分工				2 t 車(山積0.13m3)	1.000	m 3			第0022号代価表
ます設置工									
ます					2.000	箇所			
ます設置工(塩化ビニル製)(市場単価)				規格・仕様(ます径 200mm), 施工規模(5箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無), 鋳鉄製防護蓋設置の有無(無)	2.000	箇所			
取付管布設工									
取付管					5.300	m			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
				取付管布設および支管取付工(市場単価) 3m未満 規格・仕様(管径 100mm), 施工規模(5箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無), 取付管長3m未満の場合の補正(有), 取付管長5m以上12m未満の補正(無), 本管材質コンクリート製・陶製の補正(無)	1.000	箇所			
				取付管布設および支管取付工(市場単価) 3m未満 (人孔直取) 規格・仕様(管径 100mm), 施工規模(5箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無), 取付管長3m未満の場合の補正(有), 取付管長5m以上12m未満の補正(無), 本管材質コンクリート製・陶製の補正(有)	1.000	箇所			
付帯工									
舗装版破碎工									
舗装版切断					39.000	m			
舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版), アスファルト舗装版厚(15cm以下), 費用の内訳(全ての費用)					39.000	m			施工P 第0011号代価表
舗装版破碎					62.000	m2			
舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(15cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)					62.000	m2			施工P 第0012号代価表
殻処分					2.000	m3			
殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無し) (11.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)					2.000	m3			施工P 第0013号代価表
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下					4.700	t			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
管路土工									
発生土処理						m3			
					0.700				
発生土処分工 4 t 車 (山積0.28 m3)						m 3			第0001号代価表
					0.700				
床掘り 土質(土砂), 施工方法(標準), 土留方式の種類(無し), 障害の有無(無し)						m3			施工 P 第0014号代価表
					0.600				
舗装版復旧工									
下層路盤						m2			
					16.000				
下層路盤(一般市道) RC-40 t=200mm 全仕上り厚 (実数入力) (200 mm), 施工区分(1層施工), 材料(再生クラッシュラン RC-40), 費用の内訳(全ての費用)						m2			施工 P 第0015号代価表
					16.000				
上層路盤						m2			
					16.000				
上層路盤(一般市道) M-30 t=150mm 全仕上り厚 (実数入力) (150 mm), 施工区分(1層施工), 材料(粒度調整碎石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)						m2			施工 P 第0016号代価表
					16.000				
舗装版復旧工									
表層						m2			
					62.000				
表層(一般市道) 再生密粒度As t=40mm W=3.0m超 平均幅員(3.0m超), 1層当平均仕上厚 70mm 以下(40 mm), 材料(再生密粒度アスコン (1 3)), 瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)						m2			施工 P 第0018号代価表
					62.000				
不陸整正 補足材料の有無(無し), 費用の内訳(全ての費用)						m2			施工 P 第0019号代価表
					62.000				

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
共通仮設(単独)									
共通仮設費									
安全費									
交通誘導員					2.000	人日			
交通誘導警備員 B					4.000	人			
直接工事費計									
共通仮設									
共通仮設費									
運搬費									
仮設材運搬費					14.100	t			
仮設材等の運搬(1車1回往復) 製品長12m以内 片道運搬距離18km					14.100	t			第0023号代価表
仮設材等の積み取り卸し費 基地 積込→現場→基地取卸					14.100	t			第0024号代価表
重建設機械分解組立輸送費					1.000	回			
重建設機械分解組立輸送 作業区分(分解組立+輸送(往復)),機械 質量区分(BH山1.0上1.4下クラム・テレ0.4 上0.6下),分解組立用クレーン賃料補正係 数(標準(1.0))					1.000	回			
事業損失防止施設費									
水質調査費					1.000	式			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
水質分析	生活環境項目	水素イオン濃度 (ph)				検体			
					108.000				
観測井戸設置						m			第0025号代価表
					20.041				
土質ボーリング φ 66mm (粘性土 深さ50m以下)						m			第0026号代価表
					6.540				
土質ボーリング φ 66mm (砂質土 深さ50m以下)						m			第0027号代価表
					13.501				
共通仮設費 (率計上)									
共通仮設費計									
純工事費									
現場管理費									
工事原価									
一般管理費等									
契約保証費用									
工事価格									
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 発生土処分工 4 t 車 (山積0.28m3)

1.000 m 3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み ダンプトラック規格(ダンプトラック 4t積級), 運搬距離 (実数 入力) (2.1 km), DID区間(DID区間なし), バックホウ規格 (排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)), タイヤ損耗費(良好)	1.000	m3			
ストックヤード利用料金 発生土搬入	1.000	m 3			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

週休補正 [4 週 8 休 (月単位)]

第 0002 号 代価表 コンクリート

施工P(機3.62%, 労33.38%, 材63.00%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ（クローラ）〔標準・クレーン機能付き〕 山積0.8m3（平積0.6m3）2.9t吊	3.420	%			K1
特殊作業員	10.400	%			R1
普通作業員	7.900	%			R2
運転手（特殊）	6.620	%			R3
土木一般世話役	6.570	%			R4
生コンクリート 18-8-25（20）高炉	61.200	%			Z1
軽油	1.700	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 構造物種別	2	小型構造物
J 0 2 打設工法	3	バックホウ（クレーン機能付）打設
J 0 3 コンクリート規格	41	18-8-25（高炉）
J 0 5 養生工の種類	1	養生無し
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用
週休補正〔4週8休（月単位）〕		

第 0003 号 代価表 鏡切り

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
鏡切り工 土留種別(小型立坑(鋼製ケーシク*))	1.600	m			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
週休補正 [4 週 8 休 (月単位)]		

第 0004 号 代価表 コンクリート

施工P(機4.02%, 労13.36%, 材82.62%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕 圧送能力 90～110m ³ /h	3.990	%			K1
普通作業員	6.470	%			R1
特殊作業員	2.860	%			R2
土木一般世話役	2.090	%			R3
運転手（特殊）	1.810	%			R4
生コンクリート 18-8-25（20） 高炉	81.820	%			Z1
軽油	0.800	%			Z2
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 構造物種別	1	無筋・鉄筋構造物
J 0 2 打設工法	1	コンクリートポンプ車打設
J 0 3 コンクリート規格	41	18-8-25（高炉）
J 0 4 設計日打設量	1	10m ³ 以上100m ³ 未満
J 0 5 養生工の種類	1	養生無し
J 0 6 圧送管延長距離区分	1	延長無し
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

週休補正〔4週8休（月単位）〕

第 0005 号 代価表 鋼製ケーシング存置 (No. 3 φ 1800)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
刃先製作取付費 鋼製ケーシング φ 1800	1.000	個			
鋼製ケーシング φ 1800 t=12mm	3.800	m			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

週休補正 [4 週 8 休 (月単位)]

第 0006 号 代価表 機械投入埋戻工(パック材) 山積0.28m3 砂(埋戻し用)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
砂 埋め戻し用	126.000	m3			
バックホウ[クローラ] 排除(2次) 山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			
タパ 締固め 費用の内訳(全ての費用)	100.000	m3			施工P
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
週休補正 [4 週 8 休 (月単位)]		

第 0007 号 代価表 機械投入埋戻工(バックホ) 山積0.28m3 発生土

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(2次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			
クンバ 締固め 費用の内訳(全ての費用)	100.000	m3			施工P
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

週休補正 [4週8休(月単位)]

第 0008 号 代価表 建て込み簡易土留 掘削深2.0m以下

1.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
建込工(たて込み簡易土留) 掘削深(掘削深2.0m以下)	1.000	m			
引抜工(たて込み簡易土留) 掘削深(掘削深2.0m以下), クレーン賃料補正(標準 (1.0))	1.000	m			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

週休補正 [4 週 8 休 (月単位)]

第 0009 号 代価表 底部工（組立式 1 号 φ 150）

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砕石基礎工	0.950	m 2			
コンクリート 構造物種別(小型構造物), 打設工法(バックホウ(クレーン機 能付) 打設), コンクリート規格(18-8-25 (高炉)), 養生工 の種類(養生無し), 費用の内訳(全ての費用)	0.186	m3			施工 P
モルタル上塗りマンホール用	0.848	m2			
合計					
			単位当り		
条件名称					

第 0010 号 代価表 底部工 (インバートののみ)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
モルタル上塗りマンホール用	0.186	m2			
コンクリート 構造物種別(無筋・鉄筋構造物), 打設工法(ベックホウ(クレーン機能付) 打設), コンクリート規格(18-8-25 (高炉)), 養生工の種類(養生無し), 費用の内訳(全ての費用)	0.848	m3			施工P
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
週休補正 [4 週 8 休 (月単位)]		

第 0011 号 代価表 舗装版切断

施工P(機15.05%, 労58.43%, 材26.52%, 市0.00%)

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	10.240	%			K1
特殊作業員	19.960	%			R1
土木一般世話役	10.880	%			R2
普通作業員	8.920	%			R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ	22.390	%			Z1
ガソリン レギュラー	2.810	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J 0 2 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J 0 5 費用の内訳	1	全ての費用

週休補正 [4週8休(月単位)]

第 0012 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機12.85%, 労81.24%, 材5.91%, 市0.00%)
1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型〕 山積0.45m3（平積0.35m3）	12.850	%			K1
土木一般世話役	29.540	%			R1
運転手（特殊）	27.520	%			R2
普通作業員	24.180	%			R3
軽油	5.910	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J 0 2 障害等の有無	1	無し
J 0 3 騒音振動対策	1	不要
J 0 4 舗装版厚	1	15cm以下
J 0 6 積込作業の有無	1	有り
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用
週休補正〔4週8休（月単位）〕		

第 0013 号 代価表 殻運搬

施工P(機44.05%, 労39.87%, 材16.08%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要																		
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	44.050	%			K1																		
運転手 (一般)	39.870	%			R1																		
軽油	16.080	%			Z1																		
			(標準単価 積算単価)																		
<table><tr><td>条件名称</td><td>入力値</td><td>入力名称</td></tr><tr><td>J 0 1 殻発生作業</td><td>3</td><td>舗装版破碎</td></tr><tr><td>J 0 2 積込工法区分</td><td>3</td><td>機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)</td></tr><tr><td>J 0 3 DID区間の有無</td><td>1</td><td>無し</td></tr><tr><td>J 0 7 運搬距離 (km) (DID区間無)</td><td>5</td><td>11.5km以下</td></tr><tr><td>J 1 3 費用の内訳</td><td>1</td><td>全ての費用</td></tr></table> <p>週休補正 [4週8休 (月単位)]</p>						条件名称	入力値	入力名称	J 0 1 殻発生作業	3	舗装版破碎	J 0 2 積込工法区分	3	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)	J 0 3 DID区間の有無	1	無し	J 0 7 運搬距離 (km) (DID区間無)	5	11.5km以下	J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用
条件名称	入力値	入力名称																					
J 0 1 殻発生作業	3	舗装版破碎																					
J 0 2 積込工法区分	3	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)																					
J 0 3 DID区間の有無	1	無し																					
J 0 7 運搬距離 (km) (DID区間無)	5	11.5km以下																					
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用																					

第 0014 号 代価表 床掘り

施工P(機22.47%, 労53.87%, 材23.66%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ（クローラ）〔標準〕 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	22.470	%			K1
運転手（特殊）	53.870	%			R1
軽油	23.660	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 土質	1	土砂
J 0 2 施工方法	1	標準
J 0 3 土留方式の種類	1	無し
J 0 4 障害の有無	1	無し
週休補正〔4週8休（月単位）〕		

第 0015 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機5.00%, 労75.15%, 材19.85%, 市0.00%)
1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型〕 超低騒音型 排ガス型（第3次） 山積0.09m ³	2.990	%			K1
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式〕 運転質量3～4 t	1.780	%			K2
運転手（特殊）	27.030	%			R1
特殊作業員	15.840	%			R2
普通作業員	15.700	%			R3
土木一般世話役	13.010	%			R4
再生クラッシャーラン RC-40	17.770	%			Z1
軽油	1.990	%			Z2
			(標準単価 積算単価))
<div> <div>条件名称</div> <div>入力値</div> <div>入力名称</div> </div> <div> <div>J 0 1</div> <div>全仕上り厚（実数入力）</div> <div>200</div> <div>200 mm</div> </div> <div> <div>J 0 2</div> <div>施工区分</div> <div>1</div> <div>1層施工</div> </div> <div> <div>J 0 3</div> <div>材料</div> <div>6</div> <div>再生クラッシャーラン RC-40</div> </div> <div> <div>J 0 4</div> <div>費用の内訳</div> <div>1</div> <div>全ての費用</div> </div> <div>週休補正〔4週8休（月単位）〕</div>					

第 0016 号 代価表 上層路盤(歩道部)

施工P(機4.66%, 労69.96%, 材25.38%, 市0.00%)
1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型〕 超低騒音型 排ガス型（第3次） 山積0.09m ³	2.780	%			K1
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式〕 運転質量3～4t	1.660	%			K2
運転手（特殊）	25.160	%			R1
特殊作業員	14.750	%			R2
普通作業員	14.610	%			R3
土木一般世話役	12.110	%			R4
粒度調整砕石 M-30	23.440	%			Z1
軽油	1.850	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 全仕上り厚（実数入力）	150	150 mm
J 0 2 施工区分	1	1層施工
J 0 3 材料	5	粒度調整砕石 M-30
J 0 4 費用の内訳	1	全ての費用

週休補正〔4週8休（月単位）〕

第 0017 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機1.62%, 労14.97%, 材83.41%, 市0.00%)
1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要																		
アスファルトフィニッシャ 〔ホイール型〕 舗装幅 1. 4 ～ 3. 0 m	1. 040	%			K1																		
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式〕 運転質量 3 ～ 4 t	0. 210	%			K2																		
タイヤローラ〔普通型〕 運転質量 3 ～ 4 t	0. 190	%			K3																		
普通作業員	5. 110	%			R1																		
運転手（特殊）	3. 490	%			R2																		
特殊作業員	3. 410	%			R3																		
土木一般世話役	1. 240	%			R4																		
再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン（１３）	76. 320	%			Z1																		
アスファルト乳剤 PK－３ プライムコート用	6. 780	%			Z2																		
軽油	0. 280	%			Z3																		
			（標準単価 積算単価		）																		
<table><tr><td>条件名称</td><td>入力値</td><td>入力名称</td></tr><tr><td>J 0 1 平均幅員</td><td>3</td><td>1. 4m以上3. 0m以下</td></tr><tr><td>J 0 4 1層当平均仕上厚 70mm以下</td><td>40</td><td>40 mm</td></tr><tr><td>J 0 5 材料</td><td>11</td><td>再生密粒度アスコン（１３）</td></tr><tr><td>J 0 6 瀝青材料種類</td><td>2</td><td>プライムコート PK-3</td></tr><tr><td>J 0 7 費用の内訳</td><td>1</td><td>全ての費用</td></tr></table>						条件名称	入力値	入力名称	J 0 1 平均幅員	3	1. 4m以上3. 0m以下	J 0 4 1層当平均仕上厚 70mm以下	40	40 mm	J 0 5 材料	11	再生密粒度アスコン（１３）	J 0 6 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3	J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用
条件名称	入力値	入力名称																					
J 0 1 平均幅員	3	1. 4m以上3. 0m以下																					
J 0 4 1層当平均仕上厚 70mm以下	40	40 mm																					
J 0 5 材料	11	再生密粒度アスコン（１３）																					
J 0 6 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3																					
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用																					
週休補正〔４週８休（月単位）〕																							

第 0018 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機1.38%, 労10.17%, 材88.45%, 市0.00%)
1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要																		
アスファルトフィニッシャ 〔ホイール型〕 舗装幅 2. 3 ～ 6. 0 m	0. 880	%			K1																		
タイヤローラ 〔普通型〕 運転質量 1 3 ～ 1 4 t	0. 140	%			K2																		
ロードローラ 〔マカダム〕 運転質量 1 0 ～ 1 2 t	0. 130	%			K3																		
普通作業員	3. 660	%			R1																		
運転手（特殊）	2. 060	%			R2																		
特殊作業員	2. 030	%			R3																		
土木一般世話役	0. 730	%			R4																		
再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン（1 3）	80. 700	%			Z1																		
アスファルト乳剤 P K－3 プライムコート用	7. 170	%			Z2																		
軽油	0. 490	%			Z3																		
			（標準単価 積算単価		）																		
<table><tr><td>条件名称</td><td>入力値</td><td>入力名称</td></tr><tr><td>J 0 1 平均幅員</td><td>4</td><td>3. 0m超</td></tr><tr><td>J 0 4 1層当平均仕上厚 70mm以下</td><td>40</td><td>40 mm</td></tr><tr><td>J 0 5 材料</td><td>11</td><td>再生密粒度アスコン（1 3）</td></tr><tr><td>J 0 6 瀝青材料種類</td><td>2</td><td>プライムコート PK-3</td></tr><tr><td>J 0 7 費用の内訳</td><td>1</td><td>全ての費用</td></tr></table> <p>週休補正〔4週8休（月単位）〕</p>						条件名称	入力値	入力名称	J 0 1 平均幅員	4	3. 0m超	J 0 4 1層当平均仕上厚 70mm以下	40	40 mm	J 0 5 材料	11	再生密粒度アスコン（1 3）	J 0 6 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3	J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用
条件名称	入力値	入力名称																					
J 0 1 平均幅員	4	3. 0m超																					
J 0 4 1層当平均仕上厚 70mm以下	40	40 mm																					
J 0 5 材料	11	再生密粒度アスコン（1 3）																					
J 0 6 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3																					
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用																					

第 0019 号 代価表 不陸整正

施工P(機21.58%, 労71.86%, 材6.56%, 市0.00%)
1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用] 排出ガス対策 (2014年規制) ブレード幅3.1m	17.280	%			K1
ロードローラ [マカダム] 運転質量10～12t	2.160	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量13～14t	2.140	%			K3
運転手 (特殊)	35.310	%			R1
普通作業員	14.550	%			R2
特殊作業員	11.350	%			R3
土木一般世話役	10.650	%			R4
軽油	6.560	%			Z1
			(標準単価 積算単価)
<div> <div>条件名称</div> <div>入力値</div> <div>入力名称</div> </div> <div> <div>J01 補足材料の有無</div> <div>1</div> <div>無し</div> </div> <div> <div>J04 費用の内訳</div> <div>1</div> <div>全ての費用</div> </div> <div>週休補正 [4週8休 (月単位)]</div>					

第 0020 号 代価表 機械投入埋戻工(小型バックホウ) 山積0.13m3 砂(埋戻し用)

100.000 m³ 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホウ運転[クローラ型] (2次) 山積0.13m3 (平積0.1m3)		日			
タンパ 締固め 費用の内訳(全ての費用)	100.000	m3			施工P
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
砂 埋め戻し用	126.000	m3			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
週休補正 [4 週 8 休 (月単位)]		

第 0021 号 代価表 機械投入埋戻工(小型バックホウ) 山積0.13m3 発生土

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホウ運転[クローラ型](2次)山積0.13m3(平積0.1m3)		日			
クンパ 締固め 費用の内訳(全ての費用)	100.000	m3			施工P
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

週休補正 [4週8休(月単位)]

第 0022 号 代価表 発生土処分工 2 t 車 (山積0.13m3)

1.000 m 3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み ダンプトラック規格(ダンプトラック 2t積級), 運搬距離 (実数 入力) (2.1 km), DID区間(DID区間なし), バックホウ規格 (小型(2次)山積0.13m3(平0.1m3)), タイヤ損耗費(良好)	1.000	m3			
ストックヤード利用料金 発生土搬入	1.000	m 3			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

週休補正 [4 週 8 休 (月単位)]

第 0023 号 代価表 仮設材等の運搬(1車1回往復) 製品長12m以内 片道運搬距離18km

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
基本運賃区分 製品長12m以内 20kmまで	2.000	t			
合計					
			単位当り		
条件名称					

第 0024 号 代価表 仮設材等の積込み取卸し費 基地積込→現場→基地取卸

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
積込み、取卸し費（仮設材等）	1.000	t			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

週休補正 [4 週 8 休 (月単位)]

第 0025 号 代価表 観測井戸設置

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
普通作業員		人			
配管工		人			
硬質塩化ビニル管（薄肉管） VU φ 40 プレシジョン [®]	10.300	m			
コンクリート用骨材 砂 洗い 細目	0.040	m3			
諸雑費（まるめ）	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
週休補正 [4 週 8 休 (月単位)]		

第 0026 号 代価表 土質ボーリング φ 66mm(粘性土 深さ50m以下)

1.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
土質ボーリング φ 6 6 mm (5 0 m以下) 粘性土・シルト	1.000	m			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

週休補正 [4 週 8 休 (月単位)]

第 0027 号 代価表 土質ボーリング φ 66mm(砂質土 深さ50m以下)

1.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
土質ボーリング φ 6 6 mm (5 0 m以下) 粘性土・シルト	1.000	m			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

週休補正 [4 週 8 休 (月単位)]

数 量 計 算 書

(国補公下第1-1号)

1. 推進工

[illegible]

2. マンホール工

[illegible]

3. 立坑工（鋼製ケーシング）

[illegible]

4. 薬液注入工

[illegible]

5. 付帯工

[illegible]

1. 推進工

数量計算書（低耐荷力泥土圧式） φ 200mm		
工 種	計 算 式	数 量
1.路線延長	$L = 40.00$	40.00 m
2.管渠延長	$L' = 38.20$	38.20 m
3.低耐荷力圧入工工程 推進工		
1)推進延長	$L'' = 37.30$	37.30 m
2)発生土処理	$\text{掘削土量} = 0.216 \times \frac{\pi}{4} \times 37.30^2$	1.37 m ³
4.推進工法用硬質塩化ビニル管		
1)管渠本数 (JSWAS K-6)	小口径推進管 φ 200 スパイラル継手付直管 標準管L = 1.00 m/本 ⇒ 36 本	36 本
	小口径推進管 φ 200 スパイラル継手付直管 先導管L = 1.00 m/本 ⇒ 2 本	2 本
	小口径推進管 φ 200 スパイラル継手付直管 最終管L = 1.00 m/本 ⇒ 2 本	2 本
マンホール可とう継手	φ 200	4 個
2)推進工	$L'' = 37.30$	37.30 m
3)スクレーパー類撤去工	$L'' = 37.30$	37.30 m
5.仮設備工		
1)坑口工	発進坑口 2.0 箇所 到達坑口 2.0 箇所	4 箇所
2)鏡切り工(小型立坑)	小型立坑 2.0 箇所 既設マンホール 箇所	2 箇所
3)推進設備工	1.0 箇所	1 箇所
4)推進設備据替工	1.0 箇所	1 箇所
6.立坑基礎工		
1)嵩上げコンクリート工		0.38 m ³

低耐荷力泥土圧式 1.0m管推進

φ200 スパイラル継手付直管

路線番号	人孔区間	路線延長 (m)	人孔減長 立坑減長 (m)	管渠延長 (m)	推進延長 (m)	管布設延長 (m)	推 進 管									継 手 材		備 考		
							標準管 L=2.0m (本)	標準管 L=1.0m (本)	標準管 L=0.8m (本)	先導管 L=2.0m (本)	先導管 L=1.0m (本)	先導管 L=0.8m (本)	最終管 L=2.0m (本)	最終管 L=1.0m (本)	最終管 L=0.8m (本)	マンホール 可とう 継手 (個)	カラー (個)			
105	既設2	33.00	0.90	32.10	31.65	0.450		31						1		1		2		
	No.4		1.35																	
105	No.4	7.00	0.90	6.10	5.65	0.450		5						1		1		2		
	既設3		1.35																	
計		40.00	m 1.80	m	m	m	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	個	箇所		
					38.20	37.30	0.90		36			2		2		4				

立 坑 嵩 上 げ コ ン ク リ ー ト 工 (泥土圧式φ200)

呼び径	立坑名称	土留め種別	立坑面積 (m2)	コンクリート工 (m3)	
200	No. 4 両発進立坑	鋼製ケーシング φ1800	2.545	0.38	コンクリート厚 15.0cm
計				0.38	

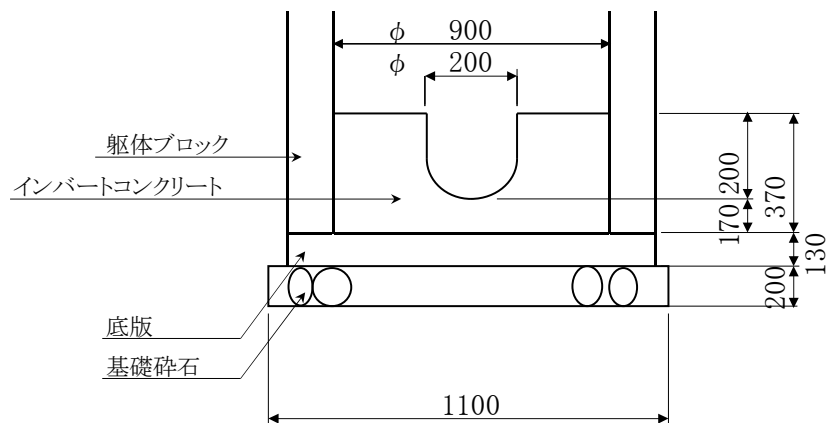
2. マンホール工

組立式1号マンホール設置工

〔工事件名〕

[illegible]

1 号組立式マンホール底部工数量 (φ 200mm)



1, インバートコンクリート

$$\begin{aligned}
 & 1/4 \times \pi \times 0.90^2 \times 0.37 & = & 0.235 \text{ m}^3 \\
 & - 1/4 \times \pi \times 0.20^2 \times 1/2 \times 0.90 & = & - 0.014 \text{ m}^3 \\
 & - 0.20 \times 0.100 \times 0.90 & = & - 0.018 \text{ m}^3 \\
 & \Sigma V & = & 0.203 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

2, モルタル上塗り工

$$\begin{aligned}
 & 1/4 \times \pi \times 0.90^2 & = & 0.636 \text{ m}^2 \\
 & 0.20 \times \pi \times 1/2 \times 0.90 & = & 0.283 \text{ m}^2 \\
 & 2 \times 0.100 \times 0.90 & = & 0.18 \text{ m}^2 \\
 & - 0.20 \times 0.90 & = & - 0.180 \text{ m}^2 \\
 & \Sigma V & = & 0.919 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

3. 立坑工

鋼 製 圧 入 立 坑 集 計 表

φ 1800

		単 位	No. 3						計
立	坑	深	m	3.554					3.554
掘	削	深	m	4.554					4.554
圧	入	深	m	4.754					4.754
ケーシング、引抜工		m	0.90						0.90
機械設置撤去工		回	1.0						1.0
機械退避・再設置工		回	1.0						1.0
ケーシング、溶接工		箇所	1.0						1.0
ケーシング、撤去工		箇所	1.0						1.0
ケーシング、切断工		m	11.44						11.44
底盤コンクリート工		m3	2.50						2.50
うわ水排水工		箇所	1.0						1.0
スライム処理工		箇所	1.0						1.0
泥水処分工		m3	1.00						1.00
土留材	刃先	個	1.0						1.0
	^{t=12mm} 土留ケーシング [°]	m	3.80						3.80
	土留スクラップ [°]	t	0.904						0.904
	φ 1800 仮設ケーシング 損料	箇所	1.0						1.0
φ 1800 用 円 形 覆 工 板		箇所	1.0						1.0
圧入掘削積込工	粘 性 土	m	1.670						1.670
	砂 質 土	m	2.844						2.844
	礫 質 土	m							
機械掘削工		m3	11.80						11.80
コンクリート埋戻工		m3	3.40						3.40
発生土埋戻工		m3	1.93						1.93
建設残土受入		m3	9.65						9.65

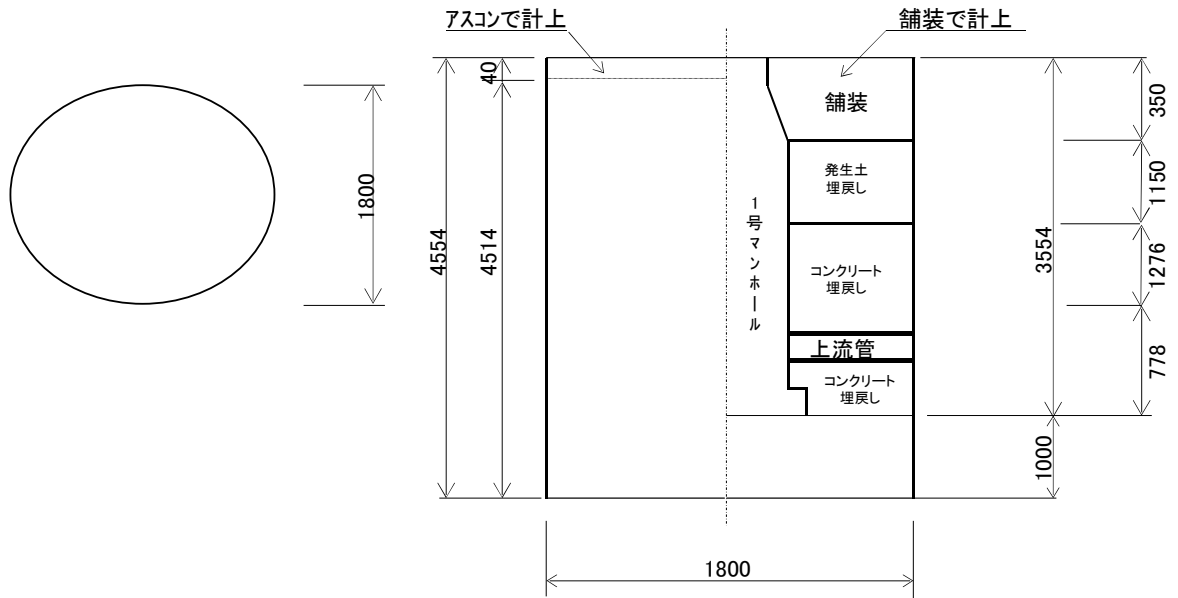
No. 4 両発進立坑数量 ϕ 1800鋼製圧入立坑			1ヶ所当り
工 種	略 図 及 び 計 算 式	数 量	
立 坑 深		3.554 m	
掘 削 深	$3.554 + 1.00 = 4.554$	4.554 m	
圧 入 深	$4.554 + 0.20 = 4.754$	4.754 m	
ケーシング引抜工	下水道用設計歩掛りより	0.90 m	
機械設置撤去工		1.0 回	
機械退避・再設置工		1.0 回	
ケーシング溶接工		1.0 箇所	
ケーシング撤去工		1.0 箇所	
ケーシング切断工	$1.80 \times \pi + \frac{GL-1.5m}{4} \times 4 = 11.439$	11.44 m	
底盤コンクリート工	下水道用設計歩掛りより	2.50 m ³	
うわ水排水工		1.0 箇所	
スライム処理工		1.0 箇所	
泥水処分工	下水道用設計歩掛りより	1.00 m ³	
スクラップ面積	$0.316^2 \times \pi/4 \times 2 = 0.157$	0.157 m ²	
土留め材料 ϕ 1800	刃先	1.0 個	
	土留ケーシング	$= 3.80$	3.80 m
	土留スクラップ 上部	$\frac{m}{m^2} \times \frac{t}{m} = 0.889$	} 0.904 t
	鏡切り	$\frac{m^2}{m^2} \times \frac{t}{m^2} = 0.015$	
	仮設ケーシング 損料		1.0 箇所
圧入掘削積込工			
粘性土	$1.710 - 0.040$	1.670 m	
砂質土	2.844	2.844 m	
礫質土		m	
円形覆工板		1.0 箇所	

No.4 両発進立坑数量

工 種

略 図 及 び 計 算 式

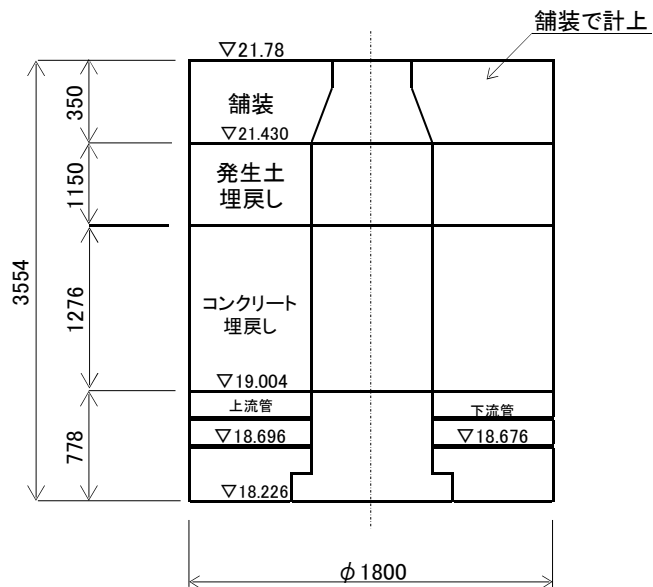
数 量



(1) 掘削面積	$(1.800 + 0.012 \times 2) \times \pi / 4 = 2.613$	2.613 m2
(2) 機械掘削	$2.613 \times (4.554 - 0.04) = 11.795$	11.80 m3
(3) コンクリート埋戻し	$1.800^2 \times \pi / 4 \times 0.778 - 0.724$ (次項より)	1.26 m3
(4) 発生土埋戻し	$1.800^2 \times \pi / 4 \times 1.150 - 0.996$ (次項より)	1.93 m3
コンクリート埋戻し	$1.800^2 \times \pi / 4 \times 1.276 - 1.105$ (次項より)	2.14 m3
(5) 残土処分工		
建設残土受入	$11.795 - 1.930 / 0.9 = 9.651$	9.65 m3

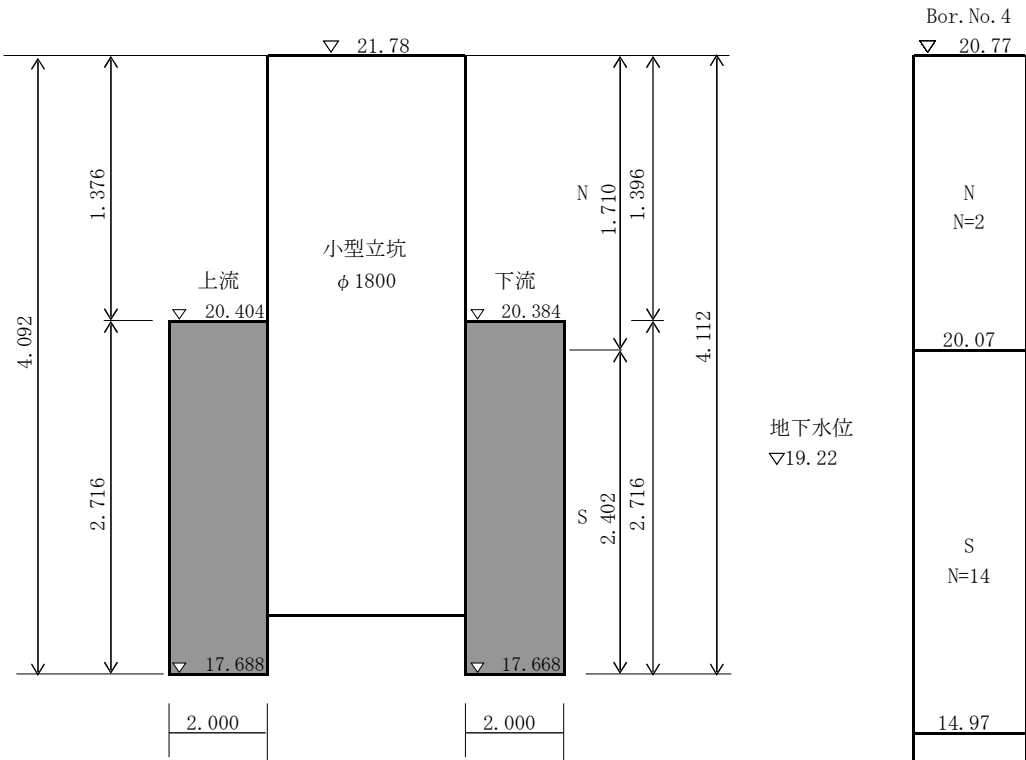
No.4 両発進立坑数量

埋 戻 し 削 除 量 計 算 書



種 目		コンクリート埋戻し削除量数量計算	合 計
マンホール	底 部	$1.100^2 \times \pi / 4 \times (0.130 + 0.150) = 0.266$	0.724 m3
	直壁・躯体 (直壁)	$1.050^2 \times \pi / 4 \times (0.778 - 0.130 - 0.150) = 0.431$	
	管,空伏工	$0.216^2 \times \pi / 4 \times (1.800 - 1.050) = 0.027$	
	副管		
種 目		発生土埋戻し削除量数量計算	合 計
マンホール	直壁	$1.050^2 \times \pi / 4 \times 1.150 = 0.996$	2.101 m3
マンホール	直壁	$1.050^2 \times \pi / 4 \times 1.276 = 1.105$	

4. 薬液注入工

地盤改良数量計算書				No. 4 両発進立坑(1)		坑口改良																
工 種		略 図 及 び 計 算 式				数 量																
<div></div>						Bor. No. 4 ▽ 20.77																
						記 号																
						N=粘性土																
						S=砂質土																
						R=砂礫土																
対 象 面 積		<div>坑口上流 $2.220 \times 2.900 - 1.80^2 \times \pi / 4$ $\times 1/2$ = 5.166 m2</div> <div>坑口下流 $2.220 \times 2.900 - 1.80^2 \times \pi / 4$ $\times 1/2$ = 5.166 m2</div>																				
注 入 対 象 土 量		<div>坑口上流 (粘性土) 5.166 \times 0.334 = 1.725 (砂質土) 5.166 \times 2.382 = 12.305</div> <div>坑口下流 (粘性土) 5.166 \times 0.314 = 1.622 (砂質土) 5.166 \times 2.402 = 12.409</div>				<div>1.725 m3 12.305 m3</div> <div>1.622 m3 12.409 m3</div>																
注 入 本 数		<div>坑口上流 A = 5.166 m2 \div 6</div> <div>坑口下流 A = 5.166 m2 \div 6</div>				<div>6 本</div> <div>6 本</div>																
削 孔 長		<table><tr><td></td><td>粘性土</td><td>砂質土</td><td>砂礫土</td><td>計</td></tr><tr><td>坑口上流</td><td>1.710</td><td>2.382</td><td></td><td>4.092</td></tr><tr><td>坑口下流</td><td>1.710</td><td>2.402</td><td></td><td>4.112</td></tr></table>					粘性土	砂質土	砂礫土	計	坑口上流	1.710	2.382		4.092	坑口下流	1.710	2.402		4.112		
	粘性土	砂質土	砂礫土	計																		
坑口上流	1.710	2.382		4.092																		
坑口下流	1.710	2.402		4.112																		
土 被 り 長		<div>坑口上流</div> <div>坑口下流</div>				<div>1.376 m</div> <div>1.396 m</div>																

地盤改良数量計算書		既設2 1号マンホール(2)		坑口改良															
工 種	略 図 及 び 計 算 式				数 量														
	<div><div><div><div><div><div>▽ 21.97</div><div>組立1号 マンホール φ 900</div></div><div><div>下流</div><div>▽ 20.489</div></div><div><div>▽ 17.773</div></div></div><div><div>2.000</div></div></div><div><div><div><div>N</div><div>1.900</div></div><div><div>S</div><div>2.297</div></div></div><div><div>1.481</div><div>2.716</div><div>4.197</div></div></div></div><div>地下水位 ▽19.22</div></div>				<div><div>Bor. No. 4</div><div>▽ 20.77</div><div><div>N</div><div>N=2</div></div><div>20.07</div><div><div>S</div><div>N=14</div></div><div>14.97</div></div>		<div>記 号</div> <div>N=粘性土</div> <div>S=砂質土</div> <div>R=砂礫土</div>												
	対 象 面 積				<div>坑口下流 2.220 × 2.525 − 1.05² × π/4</div> <div>× 1/2</div> <div>= 5.173 m2</div>														
	注 入 対 象 土 量				<div>坑口下流 (粘性土) 5.173 × 0.419 = 2.167</div> <div> (砂質土) 5.173 × 2.297 = 11.882</div> <div>2.167 m3</div> <div>11.882 m3</div>														
	注 入 本 数				<div>坑口下流 A = 5.173 m2 ÷ 6</div> <div>6 本</div>														
	削 孔 長				<table><tr><td></td><td>粘性土</td><td>砂質土</td><td>砂礫土</td><td>計</td></tr><tr><td>坑口下流</td><td>1.900</td><td>2.297</td><td></td><td>4.197</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			粘性土	砂質土	砂礫土	計	坑口下流	1.900	2.297		4.197			
	粘性土	砂質土	砂礫土	計															
坑口下流	1.900	2.297		4.197															
土 被 り 長	坑口下流				1.481 m														

地盤改良数量計算書		既設3 1号マンホール(3)		坑口改良																
工 種	略 図 及 び 計 算 式				数 量															
<div><div><div><div><div><div>▽ 21.29</div><div>組立1号 マンホール φ 900</div><div>上流 ▽ 20.290</div><div>▽ 17.650</div></div><div>2.000</div></div><div><div>3.640</div><div>1.000</div><div>2.640</div></div></div><div><div>▽ 20.77</div><div>N N=2</div><div>20.07</div><div>S N=14</div><div>14.97</div></div><div><div>Bor. No. 4</div><div>地下水位 ▽19.22</div></div></div></div>					記 号 N=粘性土 S=砂質土 R=砂礫土															
対 象 面 積	坑口上流 $2.220 \times 2.525 - 1.05^2 \times \pi/4 \times 1/2 = 5.173 \text{ m}^2$																			
注 入 対 象 土 量	坑口上流 (粘性土) $5.173 \times 0.220 = 1.138$ (砂質土) $5.173 \times 2.420 = 12.519$				1.138 m3 12.519 m3															
注 入 本 数	坑口上流 $A = 5.173 \text{ m}^2 \div 6$				6 本															
削 孔 長	<table><tr><td></td><td>粘性土</td><td>砂質土</td><td>砂礫土</td><td>計</td></tr><tr><td>坑口上流</td><td>1.220</td><td>2.420</td><td></td><td>3.640</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					粘性土	砂質土	砂礫土	計	坑口上流	1.220	2.420		3.640						
	粘性土	砂質土	砂礫土	計																
坑口上流	1.220	2.420		3.640																
土 被 り 長	坑口上流				1.000 m															

注入量及び施工時間表

(二重管ストレーナ複相式)

1 セット

[illegible]
$$\text{車上トラック運転日} = \text{総注入量} / (\text{1本当たり注入量} \times \text{1日当たり施工本数})$$
[illegible]

観測井の算定

1.観測井設置本数

4立坑 × 1箇所／立坑 = 4 箇所

2.観測井設置深さ

No.4上流No.4下流既設2既設3

改良下端+1.0m(下表より)

粘性土1.710+1.710+1.900+1.220+0.000=6.540m

砂質土2.382+2.402+2.297+2.420+4.000=13.501m

砂礫土=

改良下端+1.0m

	No.4上流	No.4下流	既設2	既設3												小計
粘性土																0.000
砂質土	1.000	1.000	1.000	1.000												4.000
砂礫土																0.000

3.水質試験延べ回数

No.4上流No.4下流既設2既設3

①工事着工前（1回）（1.0+1.0+1.0+1.0）×1回=4回

No.4上流No.4下流既設2既設3

②工事中（毎日1回以上）（1.0+1.0+1.0+1.0）×1回=4回

No.4上流No.4下流既設2既設3

③工事終了後～2週間経過まで（毎日1回以上）（14.0+14.0+14.0+14.0）×1回=56回

No.4上流No.4下流既設2既設3

④2週間経過後～半年経過まで（月2回以上）（11.0+11.0+11.0+11.0）×1回=44回

合計=108回

5. 付帯工

立坑舗装計算書

工 種	略 図 及 び 計 算 式	数 量
No. 105-2 両発進立坑 舗装工（市道）	$\phi 1800$ 鋼製圧入立坑	
舗装切断工 t= 40	$1.824 \times \pi = 5.730$	5.73 m
舗装取り壊し t= 40	$1.824^2 \times \pi / 4 = 2.613$ $2.200 \times 40.00 - 2.613 = 85.387$	2.61 m ² 85.39 m ²
アスコン塊処分工	$88.000 \times 0.04 = 3.520$ $3.520 \times 2.35 = 8.272$	3.52 m ³ 8.27 t
下 層 路 盤 工	再生切込碎石 RC-40 t= 200 $2.61 - (1.050^2 \times \pi / 4) = 1.74$	1.74 m ²
上 層 路 盤 工	再生粒調碎石 RM-40 t= 150 $2.61 - (1.050^2 \times \pi / 4) = 1.74$	1.74 m ²
本復旧表層工	再生密粒度As t= 40 $2.20 \times 40 = 88.00$	88.00 m ²

添加材使用量の算定

土質条件

土質条件の平均

スパン		スパン1	スパン2	スパン3	スパン4	スパン5	スパン6	計
推進延長	m	31.65	5.65					37.30
均等係数 β $\beta \times L$		4.00	4.00					
		1.00	1.00					平均 1.00
		31.65	5.65					37.30
P(0.075)	%	10.00	10.00					平均 10.00
P(0.075) × L		316.5	56.5					373.0
P(0.25)	%	40.00	40.00					平均 40.00
P(0.25) × L		1266.0	226.0					1492.0
P(2.00)	%	50.00	50.00					平均 50.00
P(2.00) × L		1582.5	282.5					1865.0

P(0.075) = 10.0 % 0.075mm粒径通過百分率

P(0.25) = 40.0 % 0.25mm粒径通過百分率

P(2.00) = 50.0 % 2.00mm粒径通過百分率

水 1 m³当りの添加材使用量 : U(kg/m³)

$$U = 1/3 \times (30 - P(0.075)) \times \alpha \times \beta$$

$$= 1/3 \times (30 - 10.0) \times 1.0 \times 1.00 = 6.67 \text{ (kg/m}^3\text{)}$$

ここに、

P(0.075) : 0.075mm粒径通過百分率(30%以上は30%とする) 10.0 %

α : 水質による補正係数

$$\alpha = \frac{300 \text{ (g/g)}}{\text{当該水質での飽和吸水率 (g/g)}}$$

$$= \frac{300}{300} = 1$$

飽和吸水率 水道水 : 350 (300~400) g/g

地下水 : 300 (250~350) g/g

海水 : 50 g/g

β : 均等係数による補正係数 = 1.00

$U_c \geq 4$ $\beta = 1.00$

$4 > U_c \geq 3$ $\beta = 1.05$

$3 > U_c \geq 2$ $\beta = 1.10$

地山 1 m³当りの添加材溶液の注入係数 : Q(kg/m)

$$Q = [(30 - P(0.075)) + (40 - P(0.25)) + (50 - P(2.0))] \times 4/5 \times 1/100$$

$$= [(30 - 10.0) + (40 - 40.0) + (50 - 50.0)] \times 4/5 \times 1/100$$

$$= 0.160$$

ここに、

P(0.075) : 0.075mm粒径通過百分率(30%以上は30%とする) = 10.0 %

P(0.25) : 0.25mm粒径通過百分率(40%以上は40%とする) = 40.0 %

P(2.0) : 2.0mm粒径通過百分率(50%以上は50%とする) = 50.0 %

添加材溶液の注入量 : $V(\text{m}^3/\text{m})$

$$V = S \times Q \times \gamma$$

$$= 0.062 \times 0.160 \times 1.65 = 0.016 \quad (\text{m}^3/\text{m})$$

ここに、

$$S : \text{切羽（注入）断面積} = 0.062 \text{ m}^2$$

$$S = \pi/4 \times (\text{先導体外径} + \text{ゆるみ幅} \times 2)^2$$

管径別切羽断面積			
呼び径	先導体外径 (m)	ゆるみ幅	S (m ²)
200	0.240	0.02	0.062
250	0.290	0.02	0.086
300	0.340	0.02	0.113
350	0.385	0.02	0.142
400	0.435	0.02	0.177
450	0.485	0.02	0.216

$$Q : \text{地山 } 1 \text{ m}^3 \text{ 当りの添加材溶液の注入係数 (kg/m)} = 0.160 \quad (\text{kg/m})$$

$$\gamma : \text{注入損失係数} = 1.65 \quad (1.5 \sim 1.8 \text{ 細粒分含有率、均等係数による})$$

添加材の必要量 : $G(\text{kg/m})$

$$G = U \times V$$

$$= 6.67 \times 0.016 = 0.107 \quad (\text{kg/m})$$

令和 7 年 度

07 国 補 公 下 第 1 - 1 号

【 開 削 工 法 】

数 量 計 算 書

下妻市 小島 地内 $\phi 150\text{mm}$

令和 7 年 8 月

下 妻 市 建 設 部 上 下 水 道 課

工事概要書（07国補公下第1－1号）

1. 150mm汚水管布設工

工事延長	L =	192.100	m
布設延長	L =	189.400	m
基礎延長	L =	188.950	m

2. 組立式マンホール設置工

組立式0号マンホール	N =	0	組
組立式1号マンホール	N =	2	組
組立式2号マンホール	N =	0	組
組立式小型マンホール（S号）	N =	1	組

3. 汚水柵及び取付管工

N =	0	箇所
-----	---	----

4. 付帯工

1	式
---	---

目 次

1. 数量集計表	
2. φ 150mm管布設工	
3. φ 150mm土工	
4. φ 150mm土留工	
5. マンホール築造工	
6. 汚水枥設置及び取付管工	
7. 付帯工	

1. 数量集計表

数量総括表

[illegible]

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	積算数量		設計数量		備 考
					当 初	変 更	当 初	変 更	
マンホール工									
	組立マンホール工								
	組立1号マンホール			箇所	2		2		
		マンホール材料		式	1		1		
		マンホール蓋	T-14	組	2		2		
			T-25	組					
		調整モルタル	25.0kg/袋	袋	2		1.7		69 ÷ 40mm ÷ 40mm
			12.5kg/袋	袋					
		調整リング	50mm	個	2		2		
			100mm	個					
			150mm	個					
		斜壁ブロック	H=300	個					
			H=450	個	2		2		
			H=600	個					
		直壁ブロック	H=300	個					
			H=600	個					
			H=900	個					
			H=1200	個					
			H=1500	個					
			H=1800	個					
		躯体ブロック	H=600	個					
			H=900	個	1		1		
			H=1200	個	1		1		
			H=1500	個					
			H=1800	個					
		底版ブロック	H=130	個	2		2		
		削孔工	φ 100mm	箇所					
			φ 150mm	箇所	3		3		
			φ 200mm	箇所					
			φ 250mm	箇所					
		底部工							
		φ 150mm	砕石基礎工	m2	1.9		1.90		2箇所 × 0.95 × 0.95
			インパートコンクリート	m3	0.6		0.56		3箇所 × 0.186 × 0.186
			モルタル上塗り工	m2	2.5		2.54		3箇所 × 0.848 × 0.848
		ブロック据付工							
			標準3.0m	箇所	2		2		
			標準+3.0～4.0m	箇所					
			標準+4.0～5.0m	箇所					
			標準+5.0～6.0m	箇所					
		転落防止はしご		個					人孔深h=2.0m以上
		防護ネット		個					

数量総括表

[illegible]

数量総括表

[illegible]

2. ϕ 150mm 管 布 設 工

φ 150mm管布設工数量計算書

[illegible]

3. ϕ 150mm \pm 工

φ150mm管 路 土 工 数 量 計 算 書

[illegible]

4. ϕ 150mm 土 留 工

φ150mm管 路 山 留 工 数 量 計 算 書

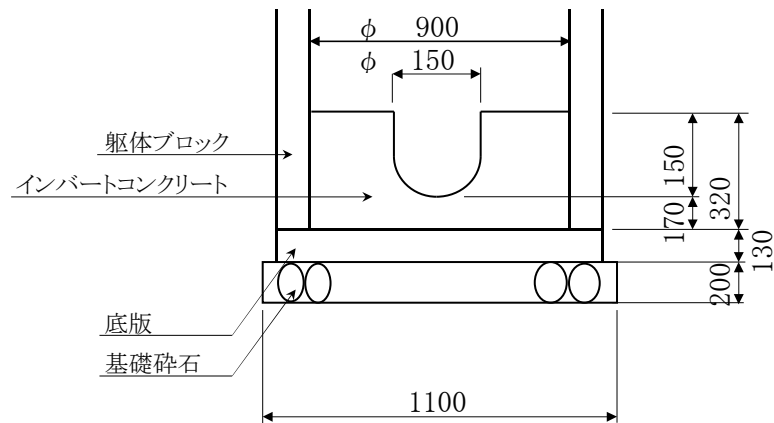
路線名	人孔番号		平 均 掘削深	路線延長	素掘り	建込み簡易土留め工								備 考
	当 初	変 更				H=2.00	H=2.50	H=3.00	H=3.50	H=4.00	H=4.50			
上段:変更	上 流	上 流	上段:変更	上段:変更	上段:変更	上段:変更	上段:変更	上段:変更	上段:変更	上段:変更	上段:変更			
下段:当初	下 流	下 流	下段:当初	下段:当初	下段:当初	下段:当初	下段:当初	下段:当初	下段:当初	下段:当初	下段:当初			
	A													
11003	2		1.36	58.10	58.10									
	2													
102	3		1.62	67.00		67.00								
	3													
102	既設1		1.93	67.00		67.00								
合 計			変更設計 当初設計	192.10	58.10	134.00								

5. マ ン ホ ー ル 築 造 工

組立1号マンホール数量計算書

[illegible]

1 号組立式マンホール底部工数量 (φ 150mm)



1, インバートコンクリート

$$\begin{aligned}
 & \frac{1}{4} \times \pi \times 0.90^2 \times 0.32 & = & 0.204 \text{ m}^3 \\
 & - \frac{1}{4} \times \pi \times 0.15^2 \times \frac{1}{2} \times 0.90 & = & - 0.008 \text{ m}^3 \\
 & - 0.15 \times 0.075 \times 0.90 & = & - 0.010 \text{ m}^3 \\
 & \Sigma V & = & 0.186 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

2, モルタル上塗り工

$$\begin{aligned}
 & \frac{1}{4} \times \pi \times 0.90^2 & = & 0.636 \text{ m}^2 \\
 & 0.15 \times \pi \times \frac{1}{2} \times 0.90 & = & 0.212 \text{ m}^2 \\
 & 2 \times 0.075 \times 0.90 & = & 0.135 \text{ m}^2 \\
 & - 0.15 \times 0.90 & = & - 0.135 \text{ m}^2 \\
 & \Sigma V & = & 0.848 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

3, 基礎碎石 (t=20cm)

$$\frac{1}{4} \times \pi \times 1.10^2 = 0.950 \text{ m}^2$$

6. 汚水枳設置及び取付管工

(官地部)

[illegible]

(民 地 部)

[illegible]

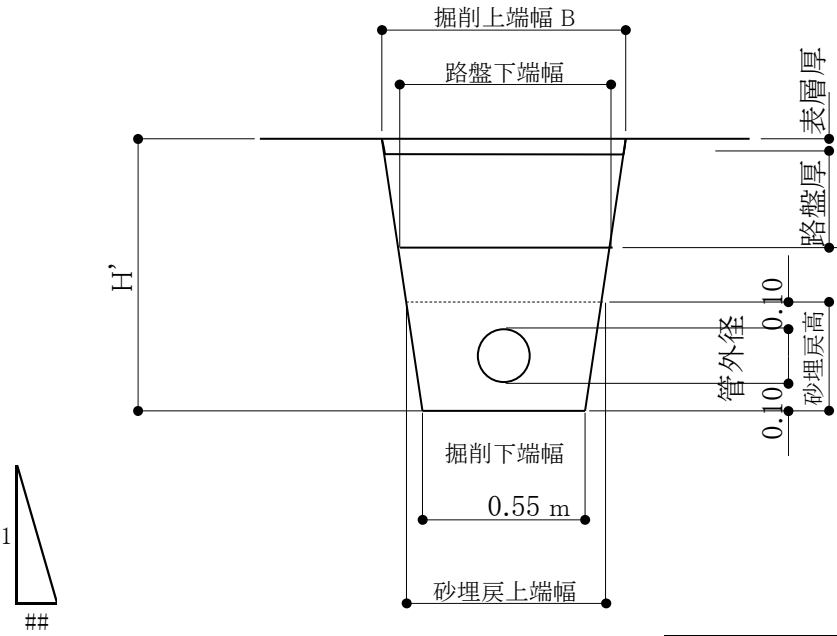
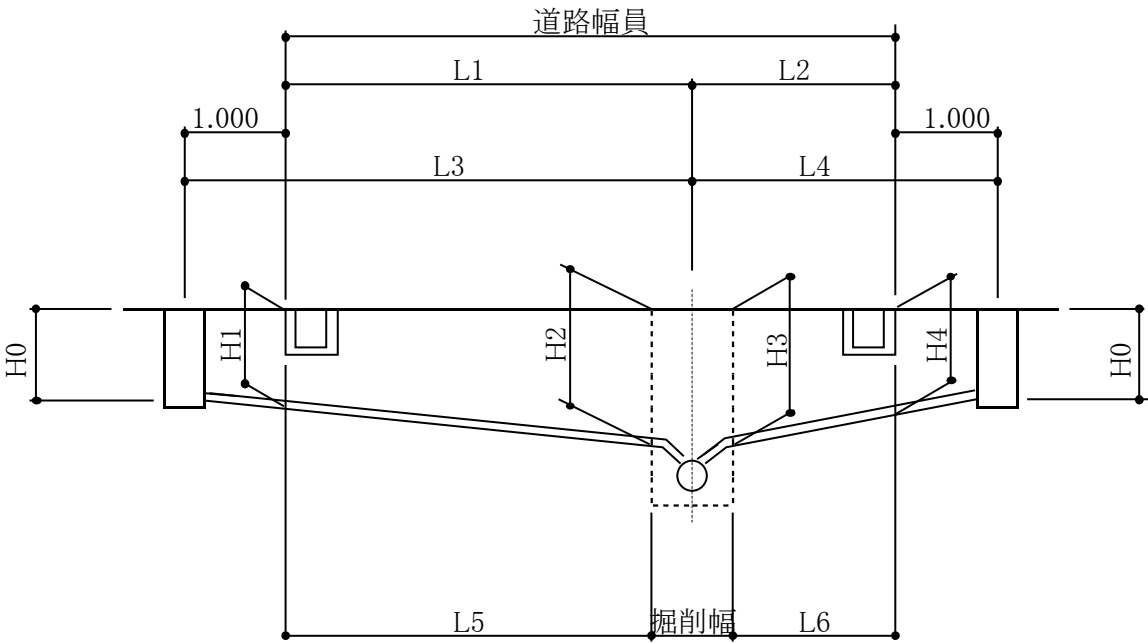
取付管管材数量計算書 φ100mm

[illegible]

横型

縦型

公共樹取付概略図



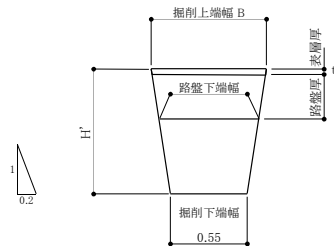
	取付管径	管外径	砂埋戻し
1	100	0.114	0.314
2	150	0.165	0.365

掘削上端幅 B = 0.55 + { (H' × 0.2) × 2 }

7. 付 帯 工

[illegible]

取	付	管	付	帶	工
---	---	---	---	---	---

[illegible]

上層路盤工	t= cm	m ² 變更	下層路盤工	t= cm	m ² 變更	表層工	t= cm	m ² 變更	基層工	t= cm	m ² 變更
一般市道	t= 15 cm	m ² 当初	一般市道	t= 20 cm	m ² 当初	(恢復旧)	t= cm	m ² 当初	(恢復旧)	t= cm	m ² 当初
	t= cm	m ² 變更		t= cm	m ² 變更		t= cm	m ² 變更		t= cm	m ² 變更
	t= cm	m ² 当初		t= cm	m ² 当初		t= cm	m ² 当初		t= cm	m ² 当初
	t= cm	m ² 變更	路床入替工	t= cm	m ³ 變更	表層工	t= cm	m ² 變更		t= cm	m ³ 變更
	t= cm	m ² 当初		t= cm	m ² 当初	(本復旧)	t= cm	m ² 当初		t= cm	m ³ 当初
	t= cm	m ² 變更		t= cm	m ³ 變更		t= cm	m ² 變更			
	t= cm	m ² 当初		t= cm	m ³ 当初		t= cm	m ² 当初			
下層路盤工	t= cm	變更		t= cm	m ³ 變更		t= cm	m ² 變更			
	t= cm	当初		t= cm	m ³ 当初		t= cm	m ² 当初			

令和 7 年 度

07 市 単 公 下 第 1 - 1 号

【 開 削 工 法 】

数 量 計 算 書

下妻市 小島 地内 $\phi 150\text{mm}$

令和 7 年 8 月

下 妻 市 建 設 部 上 下 水 道 課

工事概要書（07市単公下第1－1号）

1. 150mm汚水管布設工

工事延長	L =	16.900	m
布設延長	L =	16.000	m
基礎延長	L =	15.850	m

2. 組立式マンホール設置工

組立式0号マンホール	N =	0	組
組立式1号マンホール	N =	1	組
組立式2号マンホール	N =	0	組
組立式小型マンホール（S号）	N =	1	組

3. 汚水柵及び取付管工

N =	2	箇所
-----	---	----

4. 付帯工

1	式
---	---

目 次

1. 数量集計表	
2. φ 150mm管布設工	
3. φ 150mm土工	
4. φ 150mm土留工	
5. マンホール築造工	
6. 汚水枥設置及び取付管工	
7. 付帯工	

1. 数量集計表

数量総括表

[illegible]

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	積算数量		設計数量		備 考
					当 初	変 更	当 初	変 更	
マンホール工									
	組立マンホール工								
	組立1号マンホール			箇所	1		1		
		マンホール材料		式	1		1		
		マンホール蓋	T-14	組	1		1		
			T-25	組					
		調整モルタル	25.0kg/袋	袋			0.4		17 ÷ 40mm ÷ 40mm
			12.5kg/袋	袋	1		1		
		調整リング	50mm	個	1		1		
			100mm	個					
			150mm	個					
		斜壁ブロック	H=300	個					
			H=450	個					
			H=600	個	1		1		
		直壁ブロック	H=300	個					
			H=600	個					
			H=900	個					
			H=1200	個					
			H=1500	個					
			H=1800	個					
		躯体ブロック	H=600	個	1		1		
			H=900	個					
			H=1200	個					
			H=1500	個					
			H=1800	個					
		底版ブロック	H=130	個	1		1		
		削孔工	φ 100mm	箇所	1		1		
			φ 150mm	箇所					
			φ 200mm	箇所					
			φ 250mm	箇所					
		底部工							
		φ 150mm	砕石基礎工	m2	1.0		0.95		1箇所 × 0.95 × 0.95
			インパートコンクリート	m3	0.2		0.19		1箇所 × 0.186 × 0.186
			モルタル上塗り工	m2	0.9		0.85		1箇所 × 0.848 × 0.848
		ブロック据付工							
			標準3.0m	箇所	1		1		
			標準+3.0～4.0m	箇所					
			標準+4.0～5.0m	箇所					
			標準+5.0～6.0m	箇所					
		転落防止はしご		個					人孔深h=2.0m以上
		防護ネット		個					

数量総括表

[illegible]

数量總括表

[illegible]

2. ϕ 150mm 管 布 設 工

φ 150mm管布設工数量計算書

[illegible]

3. ϕ 150mm \pm 工

[illegible]

4. ϕ 150mm 土 留 工

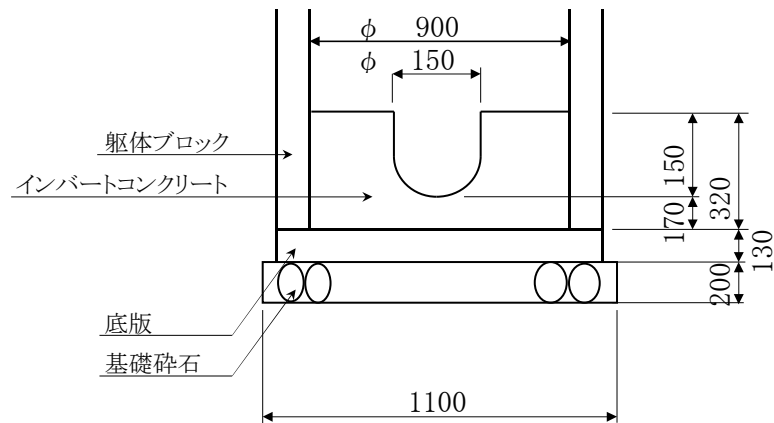
[illegible][illegible]

5. マ ン ホ ー ル 築 造 工

組立1号マンホール数量計算書

[illegible]

1 号組立式マンホール底部工数量 (φ 150mm)



1, インバートコンクリート

$$\begin{aligned}
 & \frac{1}{4} \times \pi \times 0.90^2 \times 0.32 & = & 0.204 \text{ m}^3 \\
 & - \frac{1}{4} \times \pi \times 0.15^2 \times \frac{1}{2} \times 0.90 & = & - 0.008 \text{ m}^3 \\
 & - 0.15 \times 0.075 \times 0.90 & = & - 0.010 \text{ m}^3 \\
 & \Sigma V & = & 0.186 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

2, モルタル上塗り工

$$\begin{aligned}
 & \frac{1}{4} \times \pi \times 0.90^2 & = & 0.636 \text{ m}^2 \\
 & 0.15 \times \pi \times \frac{1}{2} \times 0.90 & = & 0.212 \text{ m}^2 \\
 & 2 \times 0.075 \times 0.90 & = & 0.135 \text{ m}^2 \\
 & - 0.15 \times 0.90 & = & - 0.135 \text{ m}^2 \\
 & \Sigma V & = & 0.848 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

3, 基礎碎石 (t=20cm)

$$\frac{1}{4} \times \pi \times 1.10^2 = 0.950 \text{ m}^2$$

6. 汚水枳設置及び取付管工

(官地部)

合 計	變 更 當 初						2	2.5	5.30		1.82				0.46			0.66		1.08	2
-----	------------	--	--	--	--	--	---	-----	------	--	------	--	--	--	------	--	--	------	--	------	---

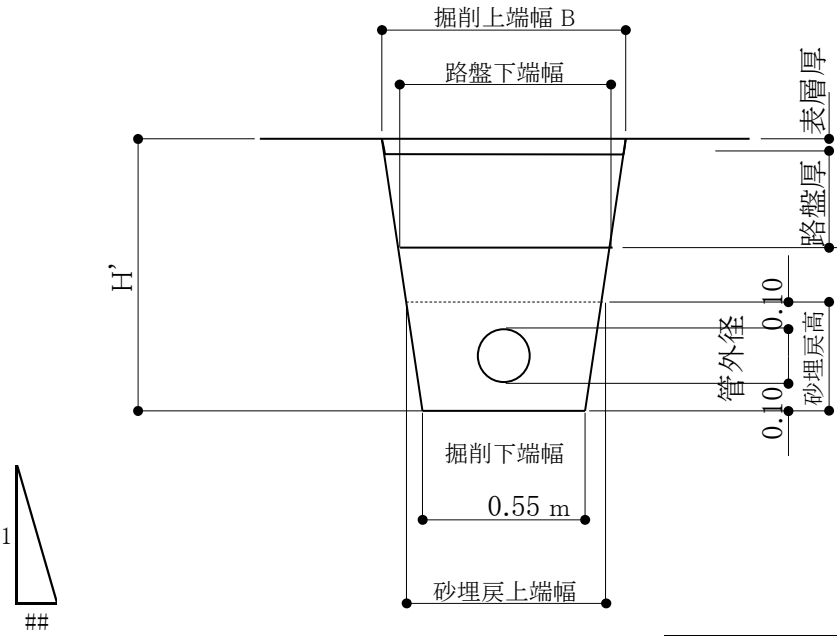
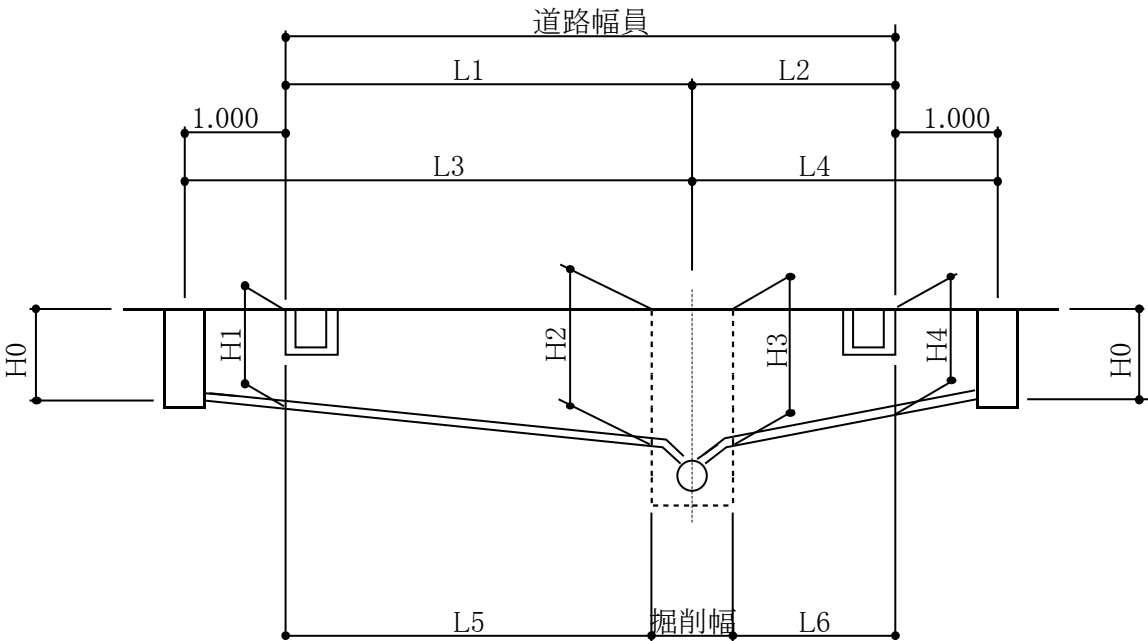
(民 地 部)

[illegible]

横型	2
縦型	

[illegible]

公共樹取付概略図



	取付管径	管外径	砂埋戻し
1	100	0.114	0.314
2	150	0.165	0.365

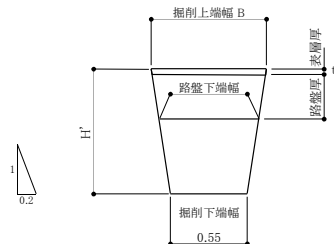
掘削上端幅 B = 0.55 + { (H' × 0.2) × 2 }

7. 付 帯 工

付帶工數量計算表

[illegible]

取付管付帯工

[illegible]

上層路盤工	t= cm	m ² 變更	下層路盤工	t= cm	m ² 變更	表層工	t= cm	m ² 變更	基層工	t= cm	m ² 變更
一般市道	t= 15 cm	2.22 m ² 当初	一般市道	t= 20 cm	2.22 m ² 当初	(恢復旧)	t= cm	m ² 当初	(恢復旧)	t= cm	m ² 当初
	t= cm	m ² 變更		t= cm	m ² 變更		t= cm	m ² 變更		t= cm	m ² 變更
	t= cm	m ² 当初		t= cm	m ² 当初		t= cm	m ² 当初		t= cm	m ² 当初
	t= cm	m ² 變更	路床入替工	t= cm	m ³ 變更	表層工	t= cm	m ² 變更		t= cm	m ³ 變更
	t= cm	m ² 当初		t= cm	m ² 当初	(本復旧)	t= cm	m ² 当初		t= cm	m ³ 当初
	t= cm	m ² 變更		t= cm	m ³ 變更		t= cm	m ² 變更			
	t= cm	m ² 当初		t= cm	m ³ 当初		t= cm	m ² 当初			
下層路盤工	t= cm	變更		t= cm	m ³ 變更		t= cm	m ² 變更			
	t= cm	当初		t= cm	m ³ 当初		t= cm	m ² 当初			